



50460-XNAB-KOS0 S660 「PERFORMANCE DAMPER®」

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。
3. [適合車種] S 6 6 0 D B A - J W 5
3 B A - J W 5
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
5. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
6. ボルト及びナットの締め付けには、寸法のあった工具を使用して確実に行って下さい。
7. ブラケット、パフォーマンス ダンパー取り付けにインパクトレンチは使用しないで下さい。
8. パフォーマンス ダンパー取り付け作業の際、ダンパーのロッド部を伸縮や回転させたり、ブーツ部を持ったり、ずらしたりしないで下さい。
また、ボルト位置が合わない場合は、無理に取り付けを行わないで下さい。
9. 「PERFORMANCE DAMPER/パフォーマンス ダンパー」はヤマハ発動機株式会社の登録商標です。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

株式会社 M-TEC 商品事業部 国内販売課

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

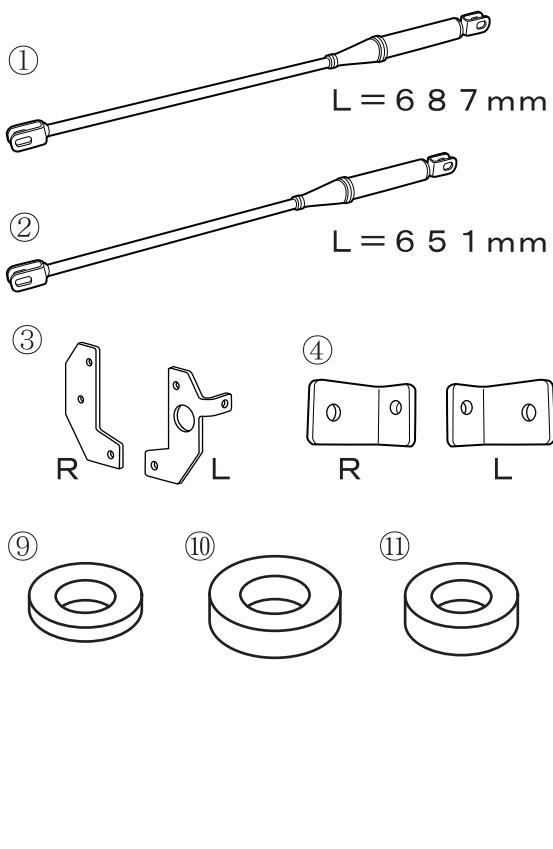
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. パフォーマンス ダンパーが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外してください。
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的にボルト類の緩み、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	パフォーマンス ダンパー (F R)	1
②	パフォーマンス ダンパー (R R)	1
③	フロントブラケット (R / L)	各1
④	リアブラケット (R / L)	各1
⑤	フランジボルト a M8 × 25	4
⑥	フランジナット M10	4
⑦	フランジボルト b M10 × 35	4
⑧	フランジボルト c M8 × 30	2
⑨	カラー a t 3.0	3
⑩	カラー b t 6.0	4
⑪	カラー c t 5.0	2
⑫	ステッカー	1

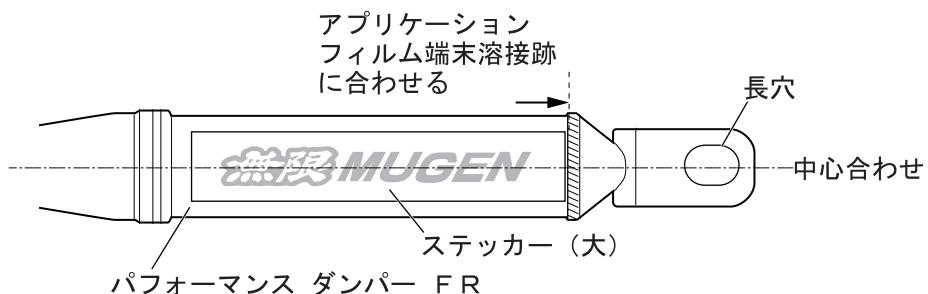


【必要工具】

- ・ドライバー + クリップリムーバー
- ・ボックスレンチ 12 mm、14 mm
- ・スパナ、メガネレンチ 12 mm、14 mm
- ・トルクレンチ
- ・ドリル
- ・エアソー

■ステッカーの貼り付け

- ①パフォーマンス ダンパー (F R / R R) のシリンダー部に下図要領でステッカー (大) を貼り付ける。
その際、貼り付け面を脱脂洗浄すること。



注意

ステッカー (大) を貼り付ける。
※ステッカー (小) はご自由にご使用下さい。

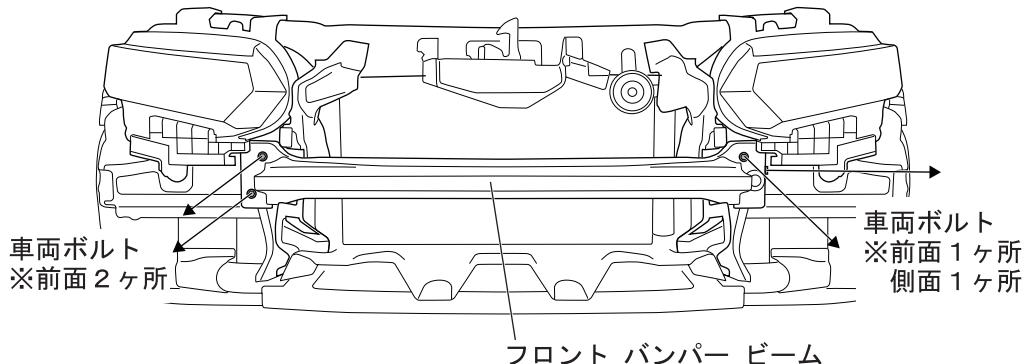
I. フロント側の取付準備

- 《注意》
- ・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 - ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

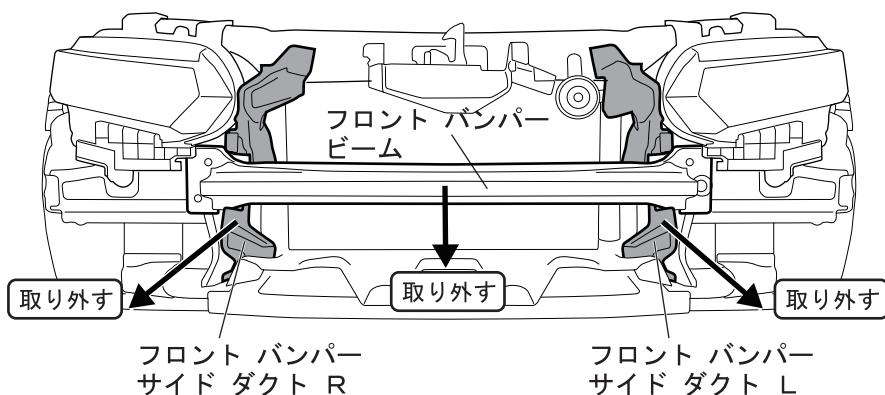
①車両からフロントバンパーを取り外す。（サービスマニュアル参照）

②フロントバンパー ビーム基部の図示車両ボルトを取り外す。

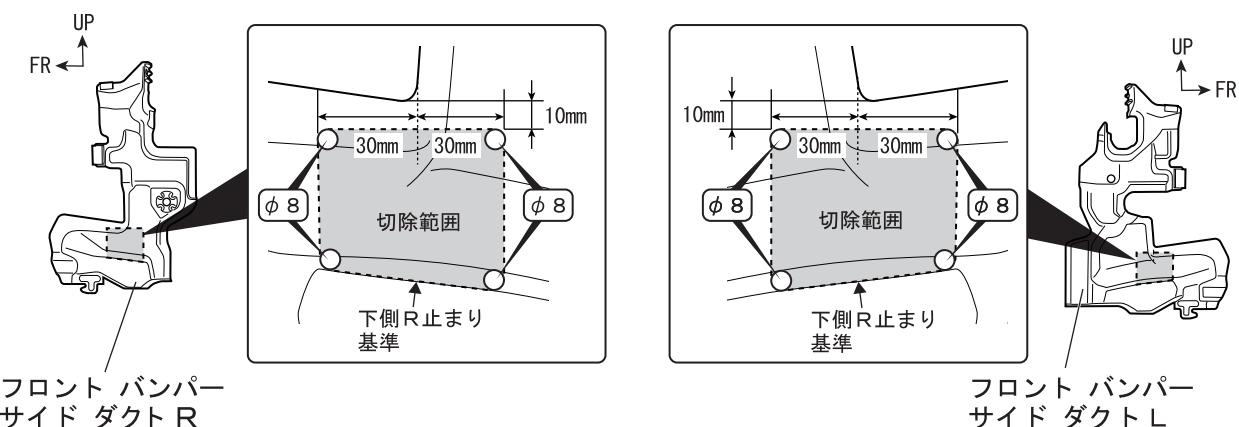
※取り外した車両ボルトは再利用しない。



③車両からフロントバンパー ビームを取り外し、フロントバンパー サイドダクト（R/L）を取り外す。（サービスマニュアル参照）

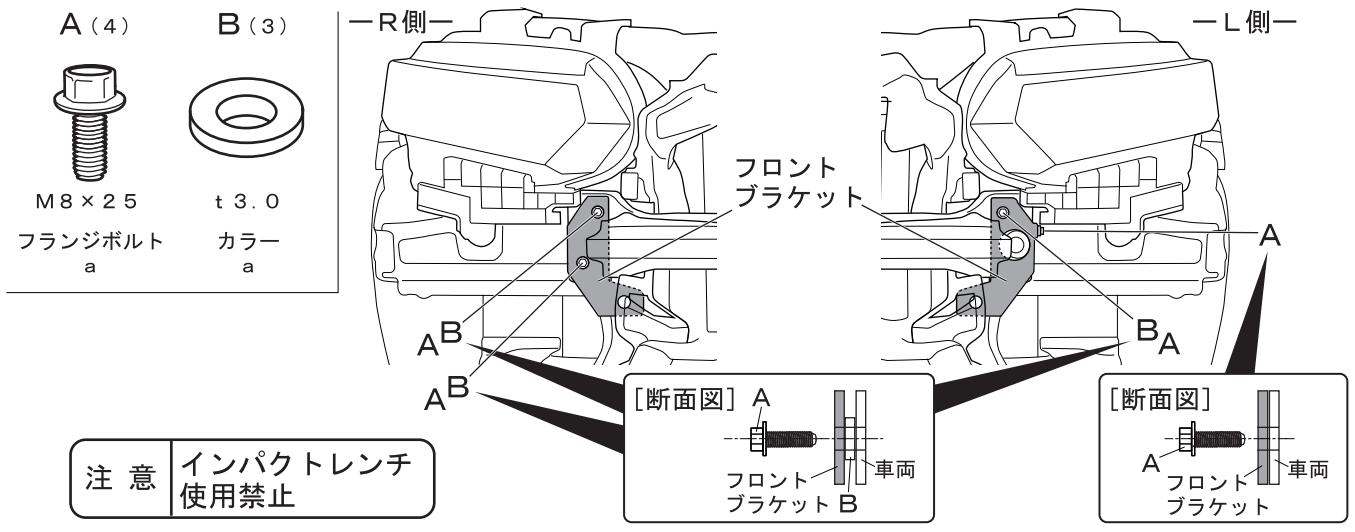


④フロントバンパー サイドダクト（R/L）を下図のように寸法計測し、切除加工する。切除加工の際は、下図のようにカットラインの角部にφ8の穴を開け、穴を結ぶようにエアソー等で切除する。



⑤フロントバンパー サイドダクト（R/L）を復元する。（サービスマニュアル参照）

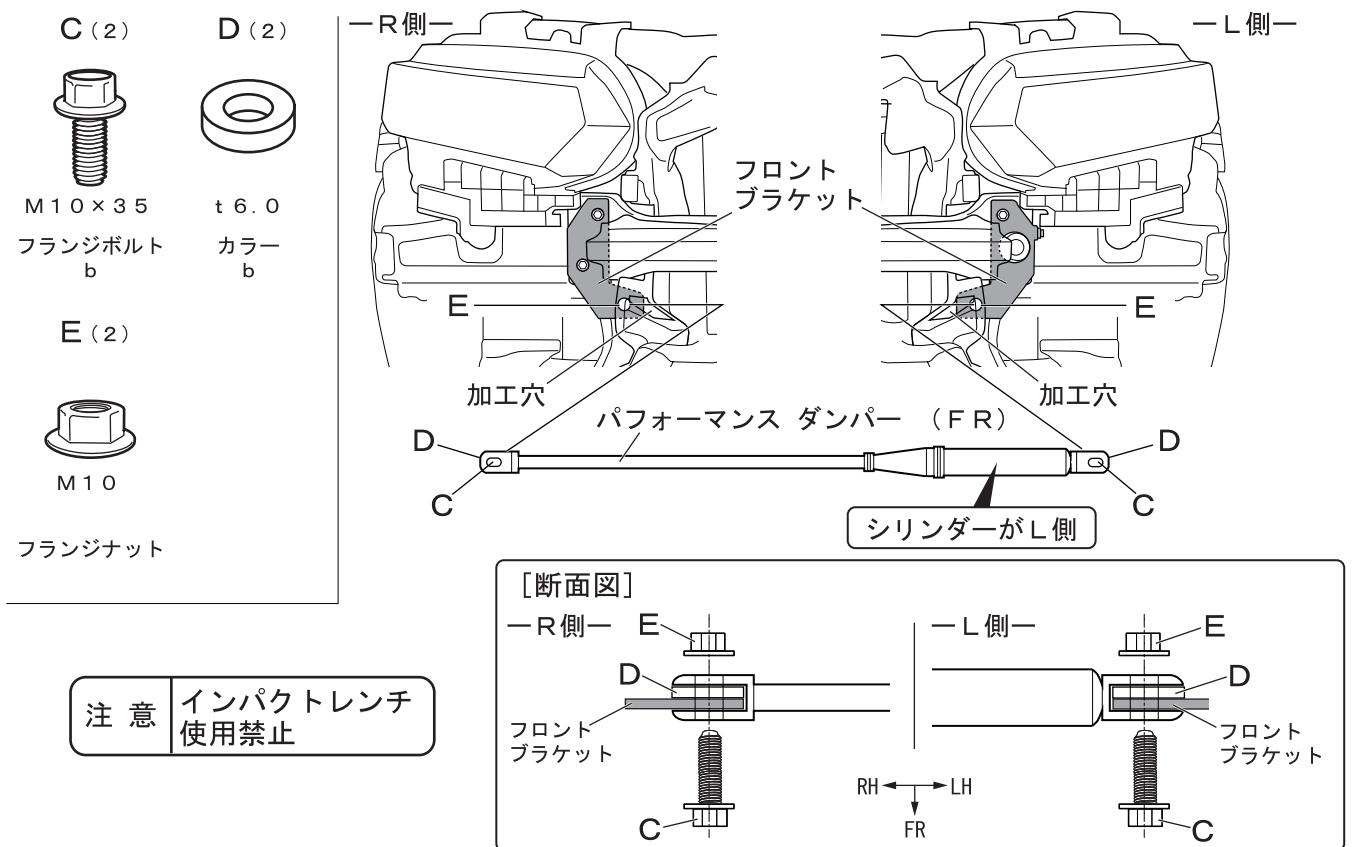
- ⑥フロントバンパー ビーム基部にフロントブラケット (R/L) をフランジボルト a (A) で仮締めする。
その際にフロントブラケットと車両の間 (前面のみ) にカラー a (B) を入れる。
(カラー a (B) : R側2ヶ所、L側1ヶ所)



II. フロント側の取付

- 《注意》・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行う事。

- ①パフォーマンスダンパー (FR) をフロントバンパー サイドダクト (R/L) 加工穴に通し、フロントブラケットにフランジボルト b (C)、フランジナット (E) で仮締めする。その際にカラー b (D) をパフォーマンスダンパー (FR) とフロントブラケットの間に入れる。



②取付位置や各部の干渉等を確認し、I-⑥で仮締めしたフランジボルトa（A）左右各2ヶ所、II-①で仮締めしたフランジボルトb（C）左右各1ヶ所を下記指定トルクで本締めする。

■締め付けトルク

- ・フランジボルトa（A）：21N·m
- ・フランジボルトb（C）：40N·m

注 意

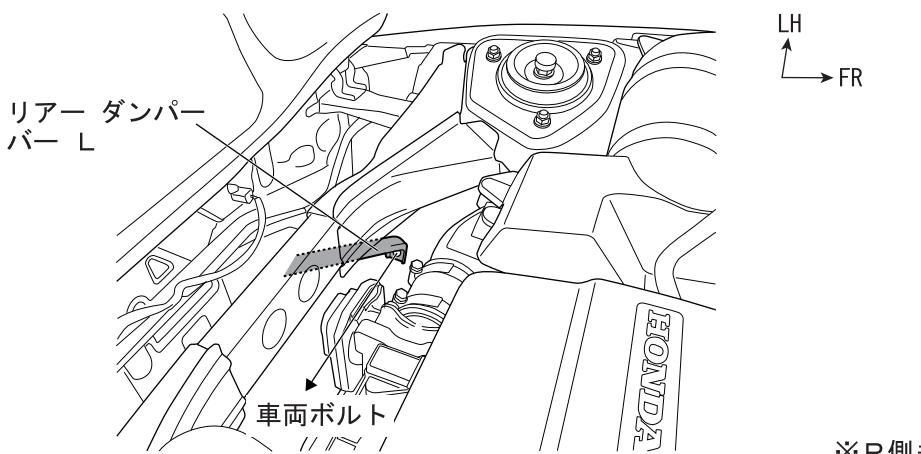
車両（4輪）水平な場所で1G接地状態で締め付け作業する事。

③フロントバンパーを復元する。（サービススマニュアル参照）

III. リア側の取付準備

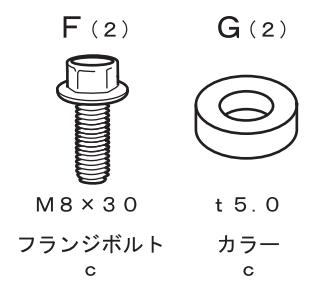
- 《注意》
- ・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 - ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は左右同様に行うこと。

①エンジンルーム内後方のリアー ダンパー バー（R/L）車両側部の車両ボルトを取り外す。
※取り外した車両ボルトは再利用しない。

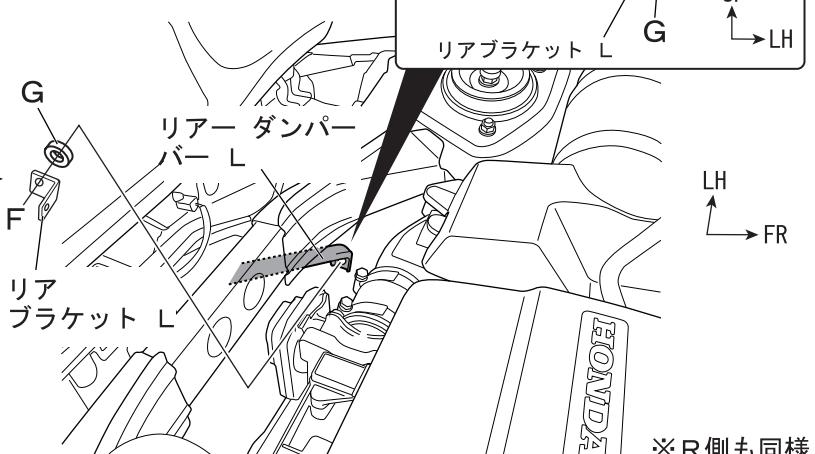
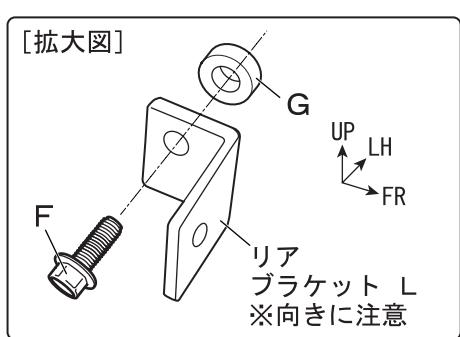
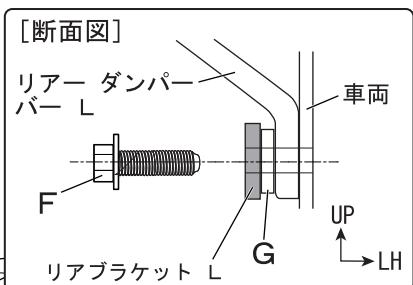


※R側も同様

②リアブラケットR/Lをフランジボルトc（F）でエンジンルーム内後方のリアー ダンパー バー（R/L）と共に仮締めする。その際にカラーc（G）をリアブラケットとリアー ダンパー バーの間に入れる。



注 意 インパクトレンチ
使用禁止



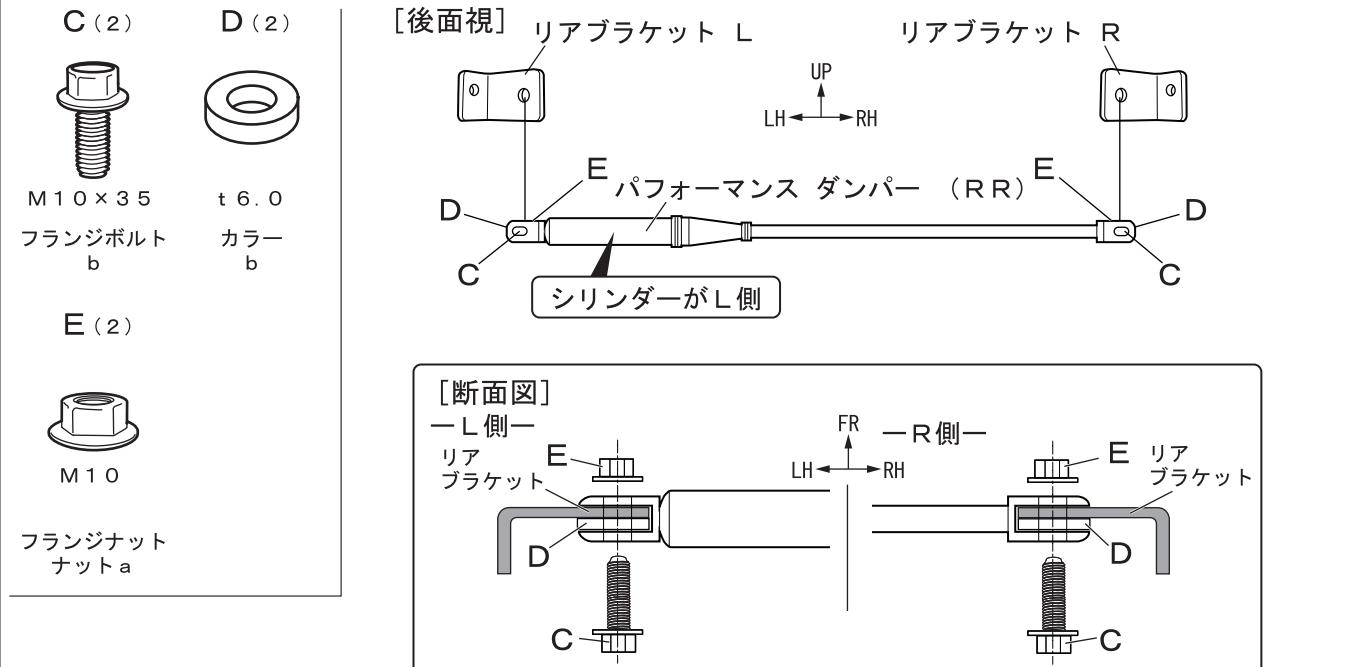
※R側も同様

IV. リア側の取付

- 《注意》
- ・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 - ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は左右同様に行うこと。

①パフォーマンスダンパー(RR)をリアブラケットR/Lにカラーb(D)と共にフランジボルトb(C)とフランジナット(E)で仮締めしてリアブラケットR/Lの位置を合わせる。その際、必要に応じてIII-2で仮締めしたリアブラケットR/Lを緩め、位置合わせを行い再度仮締めする。

※位置は下図参照



注意 インパクトレンチ使用禁止

②フランジナット(E)とフランジボルトb(C)を外し、パフォーマンスダンパー(RR)を外してリアブラケットR/Lを仮締めしたフランジボルトc(F)を下記指定トルクで本締めする。

■締め付けトルク

- ・フランジボルトc(F) : 21 N·m

注意

車両(4輪)水平な場所で1G接地状態で締め付け作業する事。

③再度パフォーマンスダンパー(RR)をリアブラケットR/Lにカラーb(D)と共にフランジボルトb(C)とフランジナット(E)で取り付け、下記指定トルクで本締めする。

■締め付けトルク

- ・フランジボルトb(C) : 40 N·m

注意

車両(4輪)水平な場所で1G接地状態で締め付け作業する事。

④取付状態が完全か確認する。